

- 
- ★ 基本
 - ★★ 活用
 - ★★★ 実践

★ レポート作成のための 図書館利用基本ガイド

<検索キーワードを見つける>

このガイドでは、検索テーマの例として「自然エネルギー」について調べています。自分の調べているテーマに置き換えて読んでみて下さい。

2014年4月 第3版

城西大学水田記念図書館

目次

1. テーマとキーワード
2. キーワードの階層構造
3. キーワードを見つける
4. キーワードを整理する
5. キーワードを使って文献をさがす
ー データベース紹介



① テーマとキーワード

■ 1. キーワード

例えば、絵画「モナリザ」に関係のある場所へ、旅行をしたいと思ったとき。その資料を集めるために書店へ行ったとしましょう。旅の本をさがすとして、旅行誌のコーナーに「モナリザ」という書名の本があるでしょうか？ 通常、置いていないと思います。さて、このままでは、さがせません。

ではどんな情報が足りないのでしょうか…目的「モナリザ関連の場所への旅行」と、ツール「目的のための本」と、両者を結び付けるのに足りないもの。それは、「モナリザが展示されている美術館のある国名」や、「モナリザを描いた画家の出身地の地名」といった“キーワード”です。こうしたキーワード（国名、地名など）が分かれば、書店の旅行誌のコーナーで、目的にあったツール（本）を見つけることができるはずです。

目的=モナリザ関連
の場所への旅行

キーワード=
国名、地名など

ツール=目的の
ための(旅行)本

■ 2. テーマ

では「自然エネルギー」について調べる場合、調査項目として「自然エネルギー政策」や「風力発電の経営コスト」、「エネルギー関連法」、「太陽パネルの性質・効率」など、色々あるかと思います。

これら調査項目が、(レポート・論文作成の) 目的でありテーマとなります。以下「自然エネルギー (について調べる)」を大テーマに進めていきます。

■ 3. テーマにそったキーワード

「自然エネルギー」をテーマとして調べる場合、調べる主なツールは、図書や雑誌記事などでしょう。こうした図書、雑誌記事などを文献と呼びます。

先の関係にならうと、

テーマ (目的) =
自然エネルギー

キーワード
= ???

文献 (ツール) =
図書、雑誌記事など

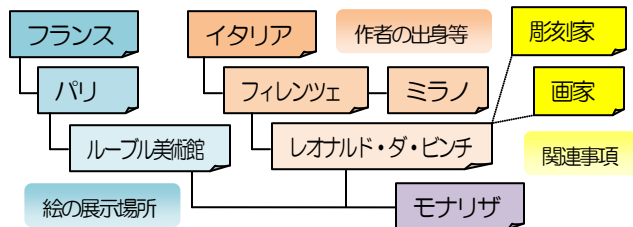
文献をさがすためには、キーワードが必要なことが分かります。

②キーワードの階層構造

■ 1. キーワードの階層構造

「モナリザ」の例を、もう一度考えてみます。調べてみると、モナリザは現在、フランスのパリのルーブル美術館に所蔵されていました。また、作者の「レオナルド・ダ・ビンチ (画家・彫刻家…)」は、イタリアのフィレンツェ近郊に生まれ、ミラノなどを遍歴した時期に「モナリザ」を描いたそうです。

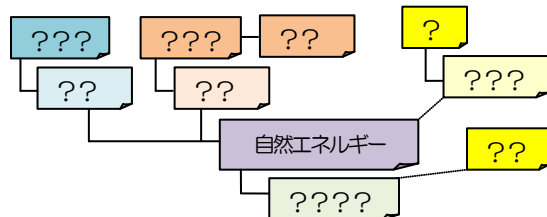
ここで出てきたキーワードを整理すると、



(関連事項を除き) 上下関係をもった階層構造ができます。さらに調べれば、モナリザの下にもキーワードがあるでしょう。また見かた／考え方によっては、モナリザの下に、ダ・ビンチがくるかもしれません。

■ 2. テーマにそったキーワードの階層構造

テーマ例 (自然エネルギー) も同様に考えられます。



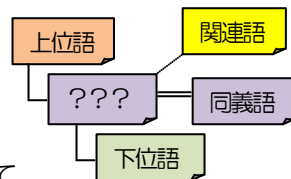
今はまだ、このテーマについて何も調べていません。これから調べて埋まる「?」が階層をつくるとともに、テーマと文献とを結ぶキーワードになりえるのです。

■ 3. 階層構造について

ある語を基準として、上位語はより広い視野で見た語。下位語は狭く。

今の見かた／考え方において、

上下なく関係した語は関連語。また同じ意味で違う呼び名の語は、同義語となります。このことを押さえておくと、整理しやすくなります。



③キーワードを見つける

■1. 階層構造でさがす

<国立国会図書館NDLのデータを使う>

日本で一番大きく、国内唯一の国立図書館（東京本館・関西館・国際子ども図書館）がNDLです。NDLが提供しているデータ検索サービスでは、先に説明したキーワードの階層構造を調べることができます。

図書館サイト >  OPAC > 

「自然エネルギー」で検索すると、同義語として「再生可能エネルギー」が見つかります。

詳しく見ると、上位語「エネルギー」、下位語「バイオマスエネルギー、太陽熱、地熱、風力、潮力」、関連語「グリーン証書」とあります。なおこれらはNDLの（一定ルールの下で登録された）様々な見かた／考え方における階層です。

検索結果は、文章だけでなくグラフィカル表示もできます。



■2. 辞書・事典類、専門図書を読む

国語辞書、百科事典、専門辞/事典類は、参考図書とも呼ばれます。言葉の意味などのほか、その解説文章から関連キーワードを見つける（読み取る）ことができます。

専門図書も同様です。内容が難しければ、やさしく書かれている序章部分だけ読んだり、「入門・概説・図説」などと書名に付くものから読むと良いでしょう。

図書館にどんな図書があるかは、城西大学OPAC

 で検索可能です。

■3. データベースを使う

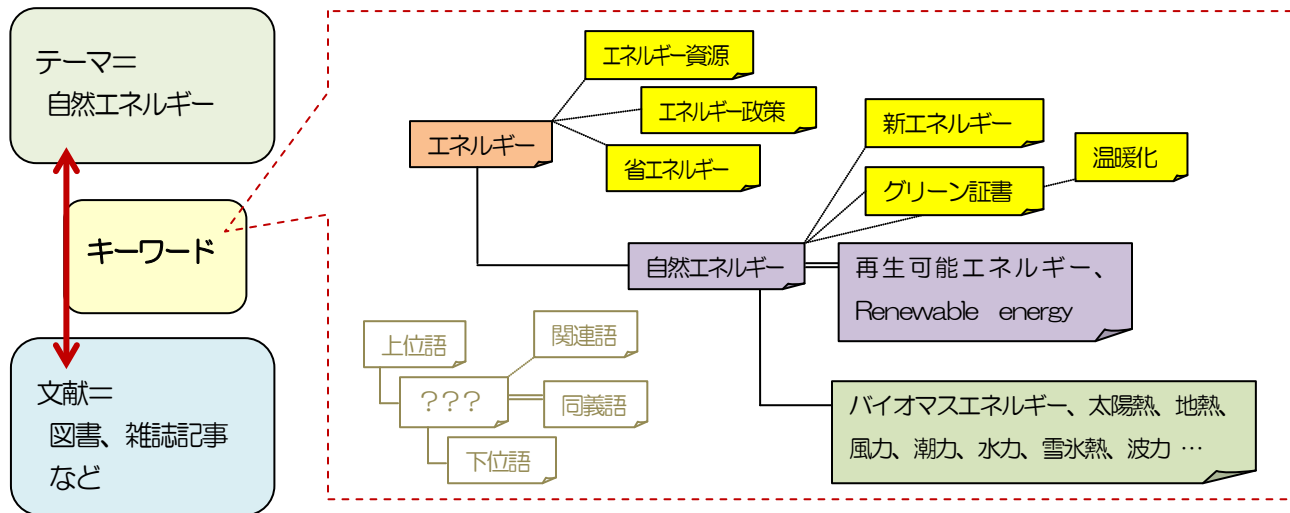
データベースとは、単純に言えば、資料を探すのに便利なツール。NDLの検索もOPACもデータベースです。

例えば「ジャパンレッジ」というデータベースは、様々な参考図書の横断検索が可能です。「自然エネルギー」を調べると、複数参考図書による、その意味が分かります。またその意味（解説文）から、下位語「水力、雪氷熱、波力…」、関連語「新エネルギー、温暖化…」というキーワードが読み取れます。

④キーワードを整理する

■ 見つけたキーワードを整理する

前頁で見つけたキーワードを整理します。また必要に応じて、さらに調べ、キーワードを追加します。これらのキーワードを元にして、文献をさがしていきます。



ある言葉で文献をうまくさがせなければ、整理したキーワードを使って再検索しましょう。例えば「バイオマスエネルギー」で図書を検索してなければ、上位語「自然エネルギー」や関連語「新エネルギー」などで試してみます。あれば、その図書の中で「バイオマスエネルギー」について書かれている可能性が高いでしょう。

⑤キーワードを使って文献をさがす (データベース紹介)

■1. 文献の種類と特徴

見つけたキーワードを使って、実際に文献をさがしていきます。まず先に、文献について簡単に説明しておきます。

主な文献種類	特徴
図書	特定テーマについて体系的にまとまり、情報量がある。レポート・論文に欠かせない情報源。
雑誌記事	特定テーマをコンパクトに取り上げている。
新聞記事	速報性を重視している。
ウェブ	便利、検索が速い、信ぴょう性が低い情報も少なくない。ウェブでは入手できない情報もある。流通している情報は、全体のごく一部。

■2. データベースとは

先に述べたとおり、文献を探すのに便利なツールです。OPACのように資料情報を提供するもののほか、「ジャパンレッジ」のような辞書・事典。資料情報+資料本文を提供するものもあります。

■3. データベース紹介 (図書館ホームページ > データベース集)

データベース	調べられるもの	本文
城西OPAC	城西の蔵書 (各資料、雑誌特集記事)	なし
国立国会図書館サーチ	国会図書館蔵書、雑誌記事など	なし
Cinii Articles	雑誌、学術刊行物、学協会刊行物、研究 究紀要の記事、1,500万件以上	一部
J-Stage	国内学協会誌、予稿集・要旨集など	あり
ジャパンレッジLib	各種百科事典、辞書などの横断検索結 果、一部雑誌などの記事	あり

青背景は無料 (家からアクセス可)、緑は契約データベース (学内アクセス)。

ここに挙げたものは、どの分野 (学科) でも使えそうなもののみです。特定分野のための、専門的なデータベースもあります。図書館ホームページのデータベース集を確認してみてください。



■参考文献

紀伊國屋書店

「情報の達人 第1巻 図書館へ行こう！
インターネット時代の情報活用入門」
「情報の達人 第2巻 ゼミ発表をしよう！
テーマ選びからプレゼンテーションまで」
「情報の達人 第3巻 レポート・論文を書こう！
誰にでも書ける10のステップ」

2007年

※上記は図書館で所蔵しています。全3巻のDVD
で、レポート・論文執筆に役立つ情報を分かりやす
く解説しています。時間のある際にぜひご覧下さい。

レポート作成のための図書館利用基本ガイド

(検索キーワードを見つける)

発行日 2014年4月 第3版

編著者 城西大学水田記念図書館